

令和6年度 学校関係者評価委員会のまとめ

1 評価者

No.	役職	氏名	No.	役職	氏名
1	学校運営協議会委員	大西 誠治	9	学校運営協議会委員	篠原 裕和
2	学校運営協議会委員	高橋英理子	10	学校運営協議会委員	淀川由美子
3	学校運営協議会委員	石黒 忠則	11	学校運営協議会委員	進藤 誠
4	学校運営協議会委員	宇高 英治	12	川の江北中学校 PTA 会長	村上 将士
5	学校運営協議会委員	大西 賢治	13	川の江高等学校長	松木 義明
6	学校運営協議会委員	高橋 優子	14	川の江小学校長	渡邊 真介
7	学校運営協議会委員	高橋 一生	15	金生第二小学校長	大西 厚
8	学校運営協議会委員	星川 達郎	16	金生第一小学校長	神野 茂

2 学校関係者の評価

【四国中央市内小・中学校 共通項目】		関係者 評価	評価結果(%)				肯定評 価(%)
A : 100~86% B : 85~71% C : 70~56% D : 55~0%達成			4	3	2	1	
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っている。	A	45	45	9	0	90.9
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されている。	A	18	73	9	0	90.9
3	教育活動や評価結果に関して分かりやすく情報提供できている。	C	36	36	27	0	72.7
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力している。	C	18	45	36	0	63.6
5	学校関係者評価委員会は、適切に運営されている。	A	27	64	9	0	90.9
【学校独自の評価項目】							
6	安全教育や防災教育は適切に行われている。	A	9	91	0	0	100
7	学校の施設・設備は整備されている。	C	27	45	27	0	72.7
8	学校は、いじめの早期発見・再発防止に積極的に取り組んでいる。	B	18	64	18	0	81.8

3 学校運営協議会委員からの意見、具体的改善策等

(1) 学習について

- ・ 自主学習時間については、各自目標を立て、毎週数値化して管理させることも一つの策ではないかと思います。
- ・ 家庭学習の少なさは、近隣の高校でも同じ状況です。なかなか具体的な案は見つかりませんが、生徒たちが興味、関心、好奇心を持てるような授業、授業以外の工夫が必要だとは思っています。理想かもしれませんが、好きになって興味を持てば、何らかの前向きな姿勢が表れると思います。
- ・ 読書については、家庭での取り組みの影響が大きいと思います。自分の子どもが小さ

いころに寝る前に本の読み聞かせをしていたが、そのまま習慣化して、高校生になった今でも就寝前に読書をする習慣がついています。小学校では、川之江図書館に、こういう本を読みたいとリクエストすると、届けてくれるサービスがあり、小学校ではよく利用しています。これだけ近い距離にあるのだから、利用しない手はありません。

- ・ 図書館での本の貸し出しについて、保護者の意見にもあるように生徒たちに目を向けさせることが高校も含めて必要だと思います。読書については、本校は図書館のレイアウトを工夫したり、自習スペースを確保したり、新刊図書もたくさん入れているがなかなか利用者数は増えていません。
- ・ もっと読書を、もっとボランティア活動への参加をと小学校も思っているが、なかなか時間的なこともあってできていません。

(2) 生活について

- ・ 生徒のあいさつがとても気持ちいいですね。また、生徒たちの中には小学生を大切にしてくれている子供たちもおり、素晴らしいと思います。
- ・ 学校教育の領域と家庭教育の領域の認識が人によって違いすぎるのですり合わせていける機会を作れたらと思っています。具体的な策はないのですが。
- ・ 先生方の指導で、理不尽な思いを抱いている生徒・保護者の方の声も耳にします。まだまだ親が子供に目をかける時期ですので、もっともって保護者も一緒にできることを見つけて実施するのもいいのではないのでしょうか。そういうところから少しずつ色々な課題を見つけていけるのでは。

(3) P T A活動、学校運営協議会、地域との連携について

- ・ せっかくの運営協議会ですので、もっと地域と一体になり、学校では見えない子供たちの様子を話したり、意見交換をしたりするように、コミュニティ・スクールをうまく活用していただけるとありがたいです。
- ・ 家庭でのゲームやネットの使用時間の抑制についても、保護者を巻き込んだ学習の場が積み重なっていけばよいと思います。
- ・ 中学生が社会貢献や活躍する場として、発表する場として、小学校との連携を深めていただきたいと考えています。P T Aの参加は小学校も厳しさを感じています。防災は全ての人に係る共通項です。小中高合同の避難訓練をはじめ、可能なものから一緒に取り組んでいきたいと思っています。
- ・ P T A、地域含めて学校との関係が希薄になっている気がします。学校行事に参加しやすいような取組があればと思います。広報活動を通じて、コミュニティ・スクールの活動が広がっていくように、広くアイデアを募る必要があると思います。運営協議会で、学校・生徒に何を望んでいるか、協力してできることは何かを、お願いしたいと思いません。地域として参加する人数を増やす努力が必要です。

5 次年度の取組

(1) 学習について

- ・ 自主学習ノートの取組の振り返りが不十分であった。自己調整力を身に付けられるよう、学習支援アプリや各教科のワーク、自主学習ノート等を有効活用して学習の個別最適化と自己調整力の伸長を図る。
- ・ 今年度から、定期テスト期間中に図書室を自習室として開放した。この取組を継続し、学習意欲の向上を図る。
- ・ 生徒に授業で学習したことが次につながるという実感を持たせ、基礎的、基本的な学習内容を定着させるため、ドリル学習や、定期的な小テスト、振り返りテストの充実を図る。
- ・ 各教科の授業において、生徒が主体的に考え、対話・協働する学習を通して、自らの考えを広げ深める学習を充実させるために、ペア学習や小集団学習等の学習形態を工夫し、アウトプットする機会を増やす。

(2) 生活について

- ・ 特別活動における学校行事や生徒会活動での取組を、生徒主体のものへの転換を図り、自治意識を育む。また、温かく支え合える人間関係作りのため、異学年交流を継続する。
- ・ 規律ある生活態度を養うため、生徒指導に関する教職員の意識の統一を図り、愛情と思いやりを行動で示す指導を心掛ける。
- ・ いじめの早期発見のため、定期的なアンケートや相談活動の実施を継続する。
- ・ 体力アップ推進計画に基づき、継続的な運動習慣を定着させ、心身ともに健康な生徒の育成を図る。
- ・ 栄養教諭による定期的な給食指導を通じて食育を充実させ、栄養バランスを重視する食意識の定着を図る。

(3) 地域との連携について

- ・ 学校行事において、PTA会員及び学校運営協議会との連携の機会を増やす。
- ・ 安全意識と防災対応力の向上のため、自主防災組織と連携し、川之江小学校、川之江高校と合同の防災訓練を実施する。
- ・ 学校行事への関わりやPTAの会合へ参加意識の希薄化が生じているため、PTA組織のスリム化と学校行事の精選を図る。